

栃木市監査委員告示第4号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定による工事監査を、栃木市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定に基づき、結果の報告を次のとおり公表します。

令和5年2月2日

栃木市監査委員 福 地 武 司

栃木市監査委員 古 澤 ちい子

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく工事監査

2 監査の期間 令和4年10月17日から令和5年1月31日まで

3 監査の対象

東陽中学校武道場新築工事

4 監査の主な着眼点

(1) 計画

- ・上位計画との整合性があるか。
- ・事業決定の手続きは適正に行われているか。

(2) 設計

- ・事業目的及び法令等に適合しているか。

- ・仕様書、図面及び設計内訳書等の設計図書は的確に作成されているか。また、適正に整備されているか。

(3) 積算

- ・積算基準、積算資料等の整備状況及びその運用は適切に行われているか。
- ・歩掛、単価は適正か。また、数量、金額は正確であり、その算出根拠は明確か。

(4) 契約

- ・業者選定方法及び契約手続は適正に行われているか。

(5) 施工

- ・工事施工に関する事務手続きは適正に行われているか。
また、施工計画は適切か。
- ・設計図書どおり施工されているか。また、法令等を遵守しているか。
- ・工程管理及び安全管理は適切か。

5 監査の実施内容

計画、設計、積算、契約、施工等の各段階において技術面から専門的な検証を実施するため、調査及び報告に関する業務委託契約を行い、技術士の派遣を依頼した。

(1) 事前調査

対象工事における計画、設計、積算、契約、施工等の各段階における資料及び関連書類を選任された技術士あてに提出した。また、その後技術士から送付された質問書に対し、回答書を提出した。

(2) 本監査

監査対象の課から提出された資料及び事前質問への回答書に基づき、監査委員の立会いのもと、技術士が関係職員及び関係業

者から説明を徴取し、さらに質疑応答による形式で行った。また、工事現場の視察を行い、関係職員及び関係業者から説明を徴取した。

この調査結果について、後日技術士から報告を受ける方法により実施した。

実施日：令和４年１２月２１日

6 監査の結果

(1) 総括

１から５に記載したとおり工事監査を実施した限りにおいて、計画、設計、積算、契約、施工等は、おおむね適正に行われていると認められた。

(2) 指摘事項

重要な点において、指摘に該当する事項は見られなかった。

(3) 指導事項

重要な点において、指導に該当する事項は見られなかった。

(4) 要望

技術士の所見によると、積算結果のチェック体制において、積算マニュアルでは複数職員による積算結果の確認手段が規定されていないが、公共工事における積算ミスは入札において多大な影響を及ぼす恐れがあり、積算結果の信頼性向上のためにも、熟練度の高い職員によるダブルチェック体制の導入が望まれるとの提言があった。

内観計画においては、アリーナ内壁の仕上材に県産木材が多用されている点について、地産地消の推進や循環型社会の構築、地球温暖化防止への貢献が認められること、さらに内観への木材利用は温かみと潤いのある教育環境を提供し、武道場としての雰囲気向上に役立つことから推奨すると評価された。

本市総合計画の基本方針で示された「健やかに人を育み学び続けられるまちづくり」では、その基本施策である「学校教育の充実」において、「魅力ある教育環境の充実」を目指している。本事業は、その具体的事業として教育環境の整備を図る目的で計画されたものであり、施工完了後は、生徒たちが安心して活動できる武道場として有意義に機能することが求められる。

そのために、この武道場の維持管理においても、本市小中学校施設長寿命化計画に基づき、法定点検や学校の日常的な点検の結果報告を踏まえて建物の劣化状況を把握し、常に安全で良好な状態で使用できるよう、また、修繕費用の縮減につながるよう早期改善に努めることを望む。

さらに、今後、市内学校施設の改修を進めるなかで、技術士からの貴重な提言を活かし、適正な施設整備・保全により児童生徒の安全安心な学習環境が確保されることを期待する。